

お客様へのご提案

環境省の「プラスチック資源循環戦略」と国連環境計画の閣僚宣言案

2018年10月に、レジ袋の有料化を義務づける検討を進める事を原田環境相が記者会見で明らかにしました。政府が策定予定の「プラスチック資源循環戦略」の素案では、2030年までに使い捨てプラスチックの排出量の25%削減、2035年までに全ての使用済みプラスチックの100%有効利用（※有効利用にはプラごみの焼却熱を発電などに使うサーマルリサイクル=熱回収、も含める）などを目標として掲げています。レジ袋の有料化はこの目標達成のための具体的施策のひとつです。背景には国連環境計画（UNEP）の閣僚宣言案があります。その内容が、2025年までにプラスチック製のレジ袋・ストロー・食器の使用をやめ、最終的には使い捨てプラスチックの全廃を目指す戦略を各国がつくる事を求めるものです。環境省が作成した「プラスチック資源循環戦略」の素案よりも高い目標設定になっています。

ホテルで使用されているランドリーバッグはほとんどが再利用ができないため、年間約 3 億枚が廃棄されていると考えられます。

2017年度 旅館・ホテルの営業施設・客室数

厚生労働省調べ	
地方自治体別営業施設数・客室数	
旅館軒数・38,622軒 客室数・688,342室	北海道 1,200 15,000 100,000 1,000,000
ホテル軒数・10,402軒 客室数・907,500室	青森県 100 1,000 10,000 100,000
	岩手県 100 1,000 10,000 100,000
	宮城県 100 1,000 10,000 100,000
	秋田県 100 1,000 10,000 100,000
	山形県 100 1,000 10,000 100,000
	福島県 100 1,000 10,000 100,000
	茨城県 100 1,000 10,000 100,000
	栃木県 100 1,000 10,000 100,000
	群馬県 100 1,000 10,000 100,000
	埼玉県 100 1,000 10,000 100,000
	千葉県 100 1,000 10,000 100,000
	東京都 100 1,000 10,000 100,000
	神奈川県 100 1,000 10,000 100,000
	新潟県 100 1,000 10,000 100,000
	富山県 100 1,000 10,000 100,000
	石川県 100 1,000 10,000 100,000
	福井県 100 1,000 10,000 100,000
	岐阜県 100 1,000 10,000 100,000
	静岡県 100 1,000 10,000 100,000
	愛知県 100 1,000 10,000 100,000
	岐阜県 100 1,000 10,000 100,000
	三重県 100 1,000 10,000 100,000
	滋賀県 100 1,000 10,000 100,000
	京都府 100 1,000 10,000 100,000
	大阪府 100 1,000 10,000 100,000
	兵庫県 100 1,000 10,000 100,000
	奈良県 100 1,000 10,000 100,000
	和歌山県 100 1,000 10,000 100,000
	徳島県 100 1,000 10,000 100,000
	香川県 100 1,000 10,000 100,000
	愛媛県 100 1,000 10,000 100,000
	高知県 100 1,000 10,000 100,000
	福岡県 100 1,000 10,000 100,000
	佐賀県 100 1,000 10,000 100,000
	長門県 100 1,000 10,000 100,000
	熊本県 100 1,000 10,000 100,000
	大分県 100 1,000 10,000 100,000
	鹿児島県 100 1,000 10,000 100,000
	沖縄県 100 1,000 10,000 100,000

907,500(室) × 365(日)
年間 約 3 億枚

ランドリーバッグとしてのご提案

お持ち帰りOKとして

次のお泊りの際に持ってきていただくと何らかのサービスを付加し、顧客の再利用を促進。

(朝食無料・駐車料割引などのサービス、またはポイント制)

お客様が外で使っていただければ、ホテルの販促につながります。

(ご主人が持ち帰った洗濯物を入れている袋がお洒落なエコバッグだったら、奥様がお買い物に使えます。)

プラスチックスマートロゴを付けることにより、ホテルの環境意識を対外的にアピールできます。

(環境活動をPRすることは企業イメージのアップに繋がり、多額の費用をつぎ込んだ広告宣伝活動を上回る効果が期待できます。)



<ロゴの例>



オリジナルデザインでの最低ミニマム 30,000 個